

くらしを考える人づくり、場づくりを 未来を見つめた 考えたくらし方提案を 地域とのネットワークを繋げて

1997年6月11日に社団法人格を取得しました。法人格を取得したことで社会的信用が高まり、行政や民間団体の調査事業の委託を受けるようになりました。また、第一次中期3カ年計画（1999年度～2001年度）を策定し、研究グループを中心に活発な活動が展開されました。

各研究グループによる研究成果の公表や公開セミナー・シンポジウム・学習会が活発に展開され、また研究結果をもとに、行政や事業団体に要望書を提出しました。

行政や地域の諸団体との共催や連携による事業も活発化し、さらに行政主催の環境展などにも出展してくらし方提案の場を求めて積極的に活動しました。新聞やテレビなど報道機関でのよりよいくらし方提案も活発に行いました。

フリースペース「ひろば風」も、作品発表の場として、プロ・アマチュアを問わず毎年多くの個人・グループの利用がありました。

2002年度～2003年度は、創立以来の研究所活動の成果を踏まえ、さらに発展させていくための活動の方向性を検討しました。



1997年10月「福井のバス」に対する要望書を福井県に提出。福井市とバス会社にも提出しました。（くらし研究グループ）



社団法人として第1回総会（1998年6月27日）



発行した冊子

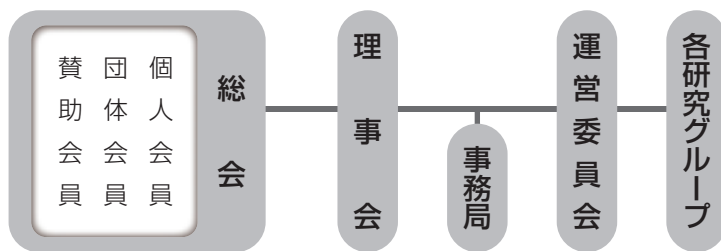


ふくい・くらしの
研究所まつり



社団法人 2代目理事長
宮川緑夫氏

組織図



第一次中期3カ年計画の基本方針

研究グループの
充実

地域への
情報発信センター
をめざす

生協会館が、
生きることの楽しみや
喜びの中心となるよう、
会館を中心に
活動する

文化の交流を通じて
ふれあいの場となる
研究所をめざす

財政を考え
自立方向を
めざす

1997-2003



手作り浄水器づくり (環境研究グループ)

古紙を使った
多目的ボックス
『リサイクルくる』
を商品開発。
福井県リサイクル
認定商品に選定。
(環境研究グループ)



親子クッキング (食研究グループ)



1998年度 「男性の食の自立」をめざして、
『男の料理教室』スタート



1998年度 生協会館で地域のお年寄り対象
の『お食事会 (金曜会)』スタート
(福祉研究グループ)



福井の物価調査 (行政からの委託事業1998年～
2000年) 専門家を交えて物価調査データを分析
(くらし研究グループ)



小中学校の子どもとその保護者2000名対象
「福井の子どもの食生活」アンケート実施
1998年度・2001年度 (食研究グループ)



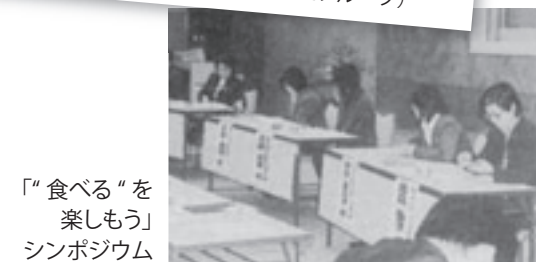
くらしの中の商品学習グループ活動



ひろは風「夏休み一日教室」



親子環境セミナー



「食べる」を
楽しもう」
シンポジウム



「私たちの出来ることから始めよう」
環境セミナー (県・市民団体と共催)



ライフプランセミナー